

『第2次村上市立小・中学校望ましい 教育環境整備計画方針』策定のための 今後の教育環境(学校運営)についての 意見調査

村上市教育委員会

《目次》

1. 『第2次村上市立小・中学校望ましい
教育環境整備計画方針』の位置づけ・・・P2
2. 策定スキーム・スケジュール・・・・・・・・・・P2
3. 村上市児童・生徒数の推移と今後の推計・・・P3
4. 学校の現状と児童・生徒数の推移・・・・・・・・P3～4
5. 学校施設の老朽化の現状・・・・・・・・・・P5
6. 村上市の学校統合の構想・・・・・・・・・・P6
7. 意見(自由記述)・・・・・・・・・・P7

『第2次村上市立小・中学校望ましい教育
環境整備計画方針』の位置づけ

村上市総合計画(第3次
R4～R8)
『あふれる笑顔のまち村上』

村上市教育基本計画
『郷育(さといく)のまち・村上』
(～郷に育ち・郷を育て・郷が育てる～)

連携

新潟県教育振興基本計画

『第2次村上市立小・
中学校望ましい教育
環境整備計画方針』

村上市立小・中学校望ましい教育環境整備
検討委員会 (委員19人(識者、区長、保護者代表など))

令和4年2月から計7回、
検討委員会を重ねる

市HPで公開中

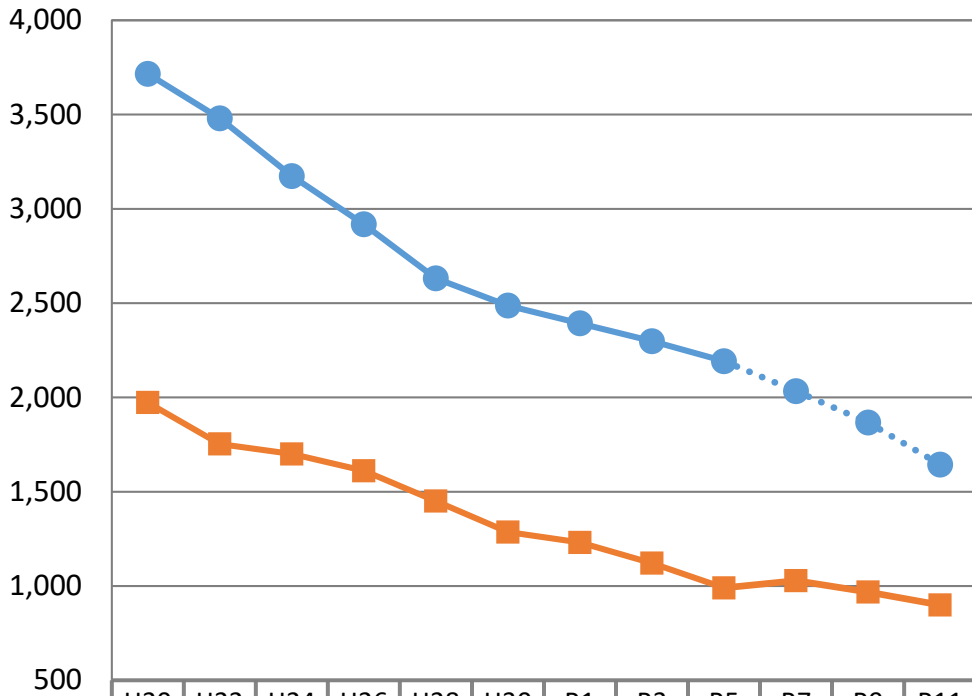
PDF事前送付

令和5年3月答申

策定スキーム・スケジュール

区分	令和 3～4	令和 5 年度					
		9月	10月	11月	12月	1月	
『第 2 次村上市立小・中学校 望ましい教育 環境整備計画方針』	答申	保護者意見 ・調査	保護者 説明	地域 説明	パブ コメ	● 策定	● 冊子制作

村上市児童・生徒数の推移と今後の推計 (単位：人)



- ※ 全国的な少子化の傾向と同様に、本市の児童生徒数は年々減少を続け、新村上市誕生当初の平成20年度には5,689人でしたが、平成30年度には3,773人となり、令和5年度には3,182人と、この5年間でさらに591人減少しております（学校基本調査より）。
- ※ また、令和11年度には2,543人(小学校児童1,644人、中学校生徒899人)と推計され、各学校の児童生徒数も年々減少していくと想定されます。
- ※ なお、令和7年度以降の生徒数には村上中等教育学校への入学を考慮しています。
- ※ さらに、小学校児童数の減少は、今後の中学校生徒数の減少に反映されるものと想定されます。

学校の現状と児童・生徒数の推移

【学校規模】

(令和5年5月1日現在)

区分	過小規模校	小規模校	適正規模校	大規模校
小学校	1～5学級	6～11学級	12～18学級	19学級以上
	—	村上(10) 村上南(11) 岩船(6) 瀬波(8) 山辺里(6) 金屋(6) 平林(6) 神納(7) 小川(6) 朝日みどり(6) 朝日さくら(6) さんばく(6) 計12校 ()内は学級数	保内(12) 計1校 ()内は学級数	—
中学校	1～2学級	3～11学級	12～18学級	19学級以上
	—	村上第一(8) 村上東(6) 岩船(3) 荒川(6) 神林(6) 朝日(6) 山北(3) 計7校 ()内は学級数	—	—

※ 学校規模区分の名称は、法令用語ではなく通称です。(文部科学省)

- ※ 令和5年度は、市立小学校13校、中学校7校のうち、全校児童生徒数が100人未満の学校は、小学校2校、中学校2校です。小学校全13校のうち、適正規模校は1校のみで、残り12校は小規模校となっております。
- ※ 中学校では全7校が小規模校となっております。

【児童・生徒数の推移】

- ※ 児童・生徒数については、令和５年度は令和５年５月１日学校基本調査に基づく人数、令和６年度以降は令和５年６月１５日現在の住民基本台帳データに基づく推定値です。
- ※ 転入、転出、転居等は考慮せず、現在の学区の小・中学校に在籍するものとして作成してあります。また、県立学校(特別支援学校、中等教育学校)への入学についても考慮していません。
- ※ 中学校の生徒数については、村上中等教育学校への入学予定者(毎年５０人程度)を勘案すると、合計数から令和６年度は５０人、令和７年度は１００人、令和８年度以降は１５０人程度を減じて見込む必要があると予想されます。(令和６年度：１,００５人、令和７年度：１,０２８人、令和８年度：９９３人、令和１１年度：８９９人)
- ※ 令和６年度以降の中学校の学級数は、村上中等教育学校入学見込み人数を減じて想定した学級数となっております。

小学校名			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
1	村上	学級数	10	10	11	11	11	10	9
		児童数	243	243	243	239	236	221	200
2	村上南	学級数	11	11	10	10	11	11	10
		児童数	291	285	257	247	246	233	214
3	岩船	学級数	6	6	6	6	6	6	6
		児童数	128	122	116	107	109	106	97
4	瀬波	学級数	8	8	7	7	7	7	6
		児童数	222	219	206	192	182	173	167
5	山辺里	学級数	6	6	6	6	6	6	6
		児童数	175	180	182	178	173	159	164
6	保内	学級数	12	12	11	10	10	9	8
		児童数	328	317	294	265	247	230	216
7	金屋	学級数	6	6	6	6	6	6	6
		児童数	86	78	80	78	75	71	64
8	平林	学級数	6	6	6	6	6	6	6
		児童数	128	116	112	105	93	88	81
9	神納	学級数	7	8	7	8	8	8	8
		児童数	195	206	194	203	193	189	174
10	小川	学級数	6	6	6	6	5	5	5
		児童数	105	97	87	73	69	58	56
11	朝日みどり	学級数	6	5	5	5	6	6	5
		児童数	61	61	59	57	59	61	53
12	朝日さくら	学級数	6	6	6	6	6	6	6
		児童数	103	99	94	94	86	87	74
13	さんぽく	学級数	6	6	6	6	6	6	6
		児童数	127	124	109	106	99	88	84
	計	学級数	96	96	93	93	94	92	87
		児童数	2,192	2,147	2,033	1,944	1,867	1,764	1,644

* 小学校 (R 5～R 11見込み)

* 中学校 (R 5～R 17見込み)

(令和５年６月１５日現在見込み)

【単位：学級数・人】

中学校名			R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	R 14	R 15	R 16	R 17
1	村上第一	学級数	8	7	8	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6
		生徒数	220	220	264	269	262	248	244	242	215	195	186	191	186
2	村上東	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
		生徒数	177	191	192	201	199	211	217	224	214	200	185	166	164
3	岩船	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
		生徒数	45	54	65	67	70	66	61	52	50	46	57	56	51
4	荒川	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	4
		生徒数	189	208	205	219	219	213	195	176	161	148	146	140	132
5	神林	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	4
		生徒数	159	168	181	169	166	155	154	156	151	154	130	126	101
6	朝日	学級数	6	6	6	5	4	3	3	3	3	3	3	3	3
		生徒数	135	145	154	148	136	122	121	121	118	103	93	88	80
7	山北	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
		生徒数	65	69	67	70	66	55	57	58	54	49	41	34	35
	計	学級数	38	37	38	36	35	33	33	33	33	33	32	31	29
		生徒数	990	1,055	1,128	1,143	1,118	1,070	1,049	1,029	963	895	838	801	749

3 学校施設の老朽化の現状

下記のとおり、築年数が30年以上となる建物が多くなってきており、それらの改修にも計画的に取り組む必要があります。

《小学校》

《学校給食調理場》

R5.5.1 【人数－○普通級数－○特支級数】 ()内は築年数	
〔243-⑩-④〕村上小学校(43)	村上小調理場(43)
〔291-⑪-⑥〕村上南小学校(46)	村上南小調理場(46)
〔128-⑥-④〕岩船小学校(57)	岩船学校給食共同調理場(39)
〔222-⑧-④〕瀬波小学校(48)	瀬波小調理場(19)
〔175-⑥-④〕山辺里小学校(12)	山辺里小調理場(12)
〔328-⑫-⑥〕保内小学校(21)	保内学校給食共同調理場(21)
〔 86-⑥-②〕金屋小学校(46)	保内学校給食共同調理場(21)
〔195-⑦-③〕神納小学校(31)	神納小調理場(5)
〔128-⑥-②〕平林小学校(21)	平林小調理場(21)
〔105-⑥-②〕小川小学校(42)	村上東学校給食共同調理場(25)
〔 61-⑥-②〕朝日みどり小学校(24)	高南学校給食共同調理場(43)
〔103-⑥-②〕朝日さくら小学校(21)	村上東学校給食共同調理場(25)
〔125-⑥-④〕さんぽく小学校(33)	山北共同調理場(33)

《中学校》

《学校給食調理場》

【人数－○普通級数－○特支級数】 ()内は築年数	
〔221-⑧-③〕村上第一中学校(52)	村上第一中調理場(23)
〔177-⑥-②〕村上東中学校(26)	村上東学校給食共同調理場(25)
〔 45-③-②〕岩船中学校(45)	岩船学校給食共同調理場(39)
〔159-⑥-②〕神林中学校(23)	神林中調理場(20)
〔189-⑥-②〕荒川中学校(30)	保内学校給食共同調理場(21)
〔134-⑥-②〕朝日中学校(34)	高南学校給食共同調理場(43)
〔 65-③-③〕山北中学校(36)	山北共同調理場(33)

村上市立小・中学校 望ましい教育環境整備検討委員会 【答申】

検討委員会からの答申を受け

村上市の学校統合の構想

- ① 学年単学級の小規模校のうち、すべての学年で1学年20人以上を満たすことのできない学校については、隣接校の状況を加味した上で、学校統合に向け動き出します。特に、将来、複式学級の発生が予想される学校については、早急に統合の検討を進めてまいります。
- ② 現在、学年複数学級がある学校においても、将来の小規模化を見通したり、統合校として使用する校舎のキャパシティを考慮したり、学校施設の改修の在り方を踏まえたりしながら、適切な時期に、隣接校との学校統合について検討をしてまいります。
- ③ 学校統合に当たっては、学校給食の提供、スクールバス運行等、児童生徒の安心・安全な学校生活を支える環境整備の目処をしっかりと検討してまいります。
- ④ 旧市町村を超えた学校統合の理解を得ていきます。
- ⑤ これまでの学校統合により、地域に1小学校1中学校しかなく、隣接校が遠方の場合、将来、小中学校の連携により小規模化に対応していくことも必要になると考えます。
- ⑥ 以上のことを保護者及び地域へ丁寧な説明と浸透を図りながら進めてまいります。

●小・中学校とも【1学級20人未満】の解消を優先

●小学校【複式学級】の可能性のある学校については、早急に統合の検討を進める

【小規模解消による利点】

- ・人間関係の固着化の解消
- ・集団生活の中で多様な考えに触れられる
- ・社会性やコミュニケーション能力の向上
- ・集団行動(運動会・様々な活動)の活性
- ・競争心(切磋琢磨)が引き出される
- ・教員数が多いことにより、より専門性、柔軟性のある教育が可能になる
- ・不登校の履修対応
- ・複式学級の解消
- ・中一ギャップの回避

ご意見を伺います。

《自由記述》

※フォームにアクセスして下さい。

URL : <https://>

※回答期限：令和5年10月10日(火)

※QRコード